

令和7年5月30日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

地元ぶらぶら学～地域づくりは「あるもの探し」から～事業報告書

- 1 実施日：5月25日（土）9：30～16：00 会議室 C、D
オープンスペース 1F
- 2 担 当：株本就子
- 3 参加者：22人
- 4 講 師：草郷孝好さん（関西大学社会学部教員）
- 5 目 的：自分たちが住むまち、学ぶまち、働くまちの地域資源を再確認し、活用
法を考え、つながることでウェルビーイングについて考える機会とする。
- 6 内 容：フィールドワークから地域資源を再確認し、マップを作成する。
(後日報告会を行い市民の方々と情報共有する。)
 - ①「地元学」のレクチャー
講師：草郷孝好先生（関西大学社会学部教授）
 - ②フィールドワーク（3グループ）
 - ・まちあるきしながら地元人にインタビュー
 - ・各グループで写真係を決める
 - ③フィールドワークの内容をまとめる（模造紙に書き出す）
 - ④各グループでの発表
 - ⑤市民参加の機会を作り発表する。（6/6 ソーシャルナイトで報告会）
- 7 アンケートおよび感想より抜粋（回答数：20）
 - ・大人にとっても今まで気づかなかった視点で街を知り発見する機会になりましたし、学生さんたちにとっては、大人以上にこれからの人生で住むコミュニティに積極的に関わっていく素地を培うよい機会になったのではないかと思います。
 - ・新しい発見や他の地域の方の意見を聞けてとても楽しかったです。
 - ・若い人たちの柔軟な思いつき、発想、疑問に触れることができた。我が町の自治会活動に生かしていきたい。
 - ・この情報を地域に伝えたい など
- 8 振り返り
 - ・今回で2回目の企画であったが、参加する人やナビが変わると全く違った絵地図が完成するところがこの企画のおもしろさであることがわかった。

- ・リードあしやを拠点にしたまち歩きの場合、行ける範囲が限られてくるので、スタート地域を他の公共施設にするなどして他の地域でも地元学を行うことができると思う。

以上

